

## 先端研究施設共用促進事業

## 「安定同位元素イメージング技術による産業イノベーション」利用成果報告書

北海道大学 創成研究機構長 殿

下記の通り、利用成果を報告します。

利用者名	旭硝子			
代表者	氏名	山本雄一	役職	主席
	所属部署	中央研究所 ガラス・化学境界領域グループ 分析科学技術ファンクション		
	所在地	〒221-8755 神奈川県横浜市神奈川区羽沢町 1150		
	電話番号		FAX 番号	
	メール			
連絡担当者	氏名	山本雄一	役職	主席
	所属部署	中央研究所 ガラス・化学境界領域グループ 分析科学技術ファンクション		
	所在地	〒221-8755 神奈川県横浜市神奈川区羽沢町 1150		
	電話番号		FAX 番号	
	メール			
利用課題名	ガラスの異質構造解析			
利用施設名	北海道大学 同位体顕微鏡システム			
利用期間	平成 23 年 5 月 11 日 ~ 平成 24 年 3 月 31 日			
	<input type="checkbox"/> 報告書公開の延期を希望する。(平成____年____月まで)			

## ●利用成果

**【利用の目的・内容】** 異分野の方にも理解できるよう簡潔に記述してください。

ガラス中軽元素の濃度ムラが製品品質に影響するため、その分析法を確立し、対策指針を得たい。

### 【成果の概要】

ガラス断面からの直接的な組成分布解析、さらにガラス表面における組成分布解析を行った。その結果、いずれにおいても、これまで他の分析手法では確認できなかった成分について、初めて組成変化を捉えることに成功した。これにより、ガラス組成変動の現象理解が大きく進展した。

**【社会・経済への波及効果の見通し】** 研究成果によってもたらされる知的資産の形成、新技術の創製などを記述してください。

ガラス組成変動のメカニズム推定が容易になり、ガラス製造プロセス改善の指針となった。

受付日	平成 23年 3 月 27 日	受付者	阿部
-----	-----------------	-----	----